

# 令和3年度第3回五城目町地域公共交通協議会

## 会 議 録

1. 日 時 令和3年12月24日（金）午後2時30分～午後3時30分

2. 会 場 五城目町役場 2階 正庁

3. 出欠状況	出席委員	別紙「出席者名簿」のとおり	25名
	欠席委員	別紙「出席者名簿」のとおり	5名
	事務局	別紙「出席者名簿」のとおり	3名

4. 次 第

① 開 会

② あいさつ

③ 会議録署名員の選任

④ 協 議

第1号 五城目町地域公共交通計画（骨子案）について

第2号 令和3年度五城目町地域公共交通協議会補正予算（第2号）  
について

⑤ その他

⑥ 閉 会

5. 議事内容 別紙のとおり

開会時刻	(午後 2 時 3 0 分)
柏 まちづくり課長	定刻となりましたので、これより令和 3 年度第 3 回五城目町地域公共交通協議会を開会いたします。
	今年度から協議会事務局長となりました、まちづくり課長の柏と申します。本日の会議出席者は、配布しております名簿のとおり委員 2 5 名となっており、うち 2 名がオンラインにより出席されております。
	事務局からは、まちづくり課の伊藤主査と松橋係長が出席しております。また、地域公共交通計画策定支援業務の受託事業者である、K C S 様からも 2 名参加いただいております。
	会に先立ちまして、これまでの協議会開催の経緯について説明させていただきます。今年度第 1 回、第 2 回目の協議会は、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮し、いずれも書面協議とさせていただきます。7 月の第 1 回協議会では、報告案件 1 件のほか協議案件として、「協議会規約の一部改正」、「令和 2 年度決算」、「令和 3 年度補正予算第 1 号」、「地域公共交通計画策定」について協議いただき、いずれも全会一致で承認されております。また、1 0 月開催の第 2 回協議会では、報告案件 1 件として「地域公共交通計画策定にかかる各アンケート調査結果等について」報告をさせていただきます。
	今年度は、五城目町地域公共交通計画策定のため、この後も協議会の開催を予定しておりますが、引続き、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮しながら、また、W e b 会議システム等も活用しながらの協議会運営に努めて参りますのでご協力をよろしくお願いいたします。
	それでは武田会長よりあいさつをお願いいたします。
武田和栄 会長	(あいさつ)

柏 まちづくり課長	これ以降の会議の進行は、協議会規約により武田会長よりお願いいたします。
武田和栄 会長	よろしく申し上げます。議事に入る前に、会議録署名員を選任させていただきます。 本日の会議録署名員に、 五城目地区町内会長会 工藤 清光 委員 馬場目地区町内会長会 宮川 東典 委員 以上の2名を指名いたします。
武田和栄 会長	それでは、次第に従いまして議事を進めてまいります。 本日は、協議案件2件となります。 はじめに、協議第1号「五城目町地域公共交通計画（骨子案）について」、協議します。事務局より説明願います。
伊藤まちづくり主査	(資料に基づき説明)
武田和栄 会長	協議第1号についての説明を終えました。ただいまの説明に対し、ご意見、ご質問等ございませんか。
佐々木輝毅 委員	今後計画を作っていく中で一番の問題は、コロナによって事業体の経営基盤が厳しくなっているということ。補助金を頂いて運営しているが、今後の計画にあたって事業体として実施できるかどうか交通事業者の大きな課題となっている。 もうひとつ大きな問題は車の運転である。今後、運行形態を作っていく、増やしていく事が現実の問題としてより厳しくなっていくのではないかと。我々もできる事とできない事があり、会社が当然全て行う事ができるわけではないが、例えば課題が5項目あるとすれば最初の2項目を行うなど、段階的に示してもらったものに対して可能かそうでないかも含めて検討していきたい。

	現実的に我々が危惧している事は、タクシー等の運行が朝の時間帯に非常に集中していることである。朝方はドライバーを配置しなければならない一方で、夕方までの日中は車両が動かず、ドライバーが空いている。
	アフターコロナがどうなるかわからないが、計画を組んでいく上で運送業界として厳しい状況だという事を皆さんにも知って置いて頂きたい。
伊藤英紀 委員	地域公共交通の維持と大きな見出しがあるが、一番の問題は自家用車がますます多くなる中で公共交通の維持が困難になることだと思う。
	五城目町でも地域公共交通の維持が課題だと思うが、役場職員を含めほとんどが自家用車を使用している。それが一因でもあり、ここで謳っている通りかと思うが、町の費用負担が近年増大している。こういった事も今回の課題の中で入れていくべきだと思う。
	職員自らが範を示して町民をリードし、一同一丸となっていく事が最も大切だと考える。公共交通を使う事も示していかなければ、ますます公共交通が衰退していく為、それを加味してもらいたい。
越高直人 委員	単純に利用者の問題だと思う。町の中でどこに行くかといえば、ほぼ買物と病院だけとなっている。公共交通を利用するのは一般の方、高齢者が多い。高齢者は80代になると免許返納が始まっていく為、免許返納が必要な町民が増えた際に公共交通が必要になる。佐々木委員がおっしゃったように、問題等を具体的にしても現在の年齢構成から70代~80代が増えていく為、公共交通がどうしても使わなくてはならなくなる事はあるが、少し先だと感じる。そのため、長い目で見ても町の目標や議論を考えていく必要がある。
宮川東典 委員	高齢者に関して、スマホの保有率が65%だったが、スマホを持

	っていない人こそが公共交通を使いたい人だと思う。家族の誰かが持っていれば将来便利になるような対策がとれると思うが、まずは早期実践可能なものから整備して頂きたい。
加藤雄一 委員	地域が主体となって地域の足を確保する事が最も重要だと思った。この取組には資金がないと維持できない為、その辺りも検討をよろしくお願ひしたい。
船山晴美 委員	<p>県の調べでも約9割がマイカーといった状況で、公共交通を利便性が悪いから使わず、その為自家用車を利用するといった安易な状況も多分にあると思われる。</p> <p>なにかしらの公共交通に乗る事によるインセンティブ、例えばCO2削減に役立つ事や歩く事による健康促進なども周知しながら今ある交通手段をフルに動かしていく事が必要だ。</p>
佐藤廣勝 委員	私の母親は90歳になるが自分で乗合タクシーを予約して帰日も利用している。こういった事例から、乗れる人は乗れるが乗れない人は乗れない。買い物する、皆で出かける等の利用によって慣れていく事が最も大切だ。
門脇隆幸 委員	先程話に上がったタクシー会社さんの例のように、バスの乗務員も高齢化しており、免許保有者も少なくなって乗務員確保に苦慮している。協議会で協議する事項ではないが、乗務員確保に良いアイデアがあれば参考までに出して頂きたい。
宮川東典 委員	馬場目地区では、交通体制が不便な地域をどうするか由利本荘市に研修にいつてきた。その地域でも公共交通が走らなくなっている。市では車を購入して貸与し、地域の人がメンバー登録して運転している。利用者の数から採算はとれないが、公共交通が必要である。

	佐々木委員も先程言っていたが、運転する人を確保する等、何をするにしても資金が必要。しかし資金を出すところがない。それについては、町や秋田県、国が地域の声や現状を理解していると思うため、こういった体系の地域の現状をどうするかについての指針を出していただきたい。また、他の地域の事例や五城目町の公共交通協議会での皆さんの意見等を参考にしていきたい。
鈴木喜輝 委員	公共交通を維持するには使うことが大前提だが、地域主体で検討が始まっていると聞き、公共交通を守っていく為にはまず自分たちが公共交通を利用していくといった意識づけをする事が大切だと思う。それは今の自家用車の依存からの脱却、自家用車を使う頻度が減れば環境問題にもつながるので、これからも各地区の様々な意見を出し合って自分のところの指標、公共交通は皆さんで作って頂ければと思う。
	話にあったその他の地域の事例については、仙台の運輸局の方で東北6県の事例を取りまとめているので、事例がそのまま当てはまるかはわからないが、まず知ってもらう為に完成次第皆さんに共有したい。
小玉俊雄 委員	鈴木委員の事例について、少し違うが全国でもあると思う為、様々な例を参考にしていく事が大事だと考えている。おそらく和歌山県で人口5,000~6,000人の高齢社会の地域でタクシー会社と地域で運転できる人が集って、上手く連携している事例がNHKのラジオで紹介されていた為、参考にしてはどうか。
吉尾千秋 委員 (代理出席)	各地域代表の方々の貴重なお話を多く聞く事が地域の事を考えている事を強く感じる事ができて良かった。
	人手不足のイメージは介護の分野であるが、一般の方には運輸に関して運転手不足といった危機意識が無いと思う。そのため地域で話をする際には人手不足の面を話してほしい。

	五城目町は先進地域のひとつだと思っている。先日も東北運輸
	の課長さんが視察に来ていたり昨年は山形県から視察が来ていた
	りしていた。五城目町では広域でマイタウンバスを運行している
	など、様々な取り組みを行っている。トライ・アンド・エラーも
	あるが努力している点について先進的なところのひとつだと思う。
	今後も自信をもって意見を出していただければ町の方でも取り組
	んで頂けると思うので、計画に活かしてより良いまちづくりに生
	かして頂きたい。
武田和栄 会長	他にご意見、ご質問等ございませんか。
	ご意見などないようですので、協議第1号五城目町地域公共交
	通計画（骨子案）については、承認してよろしいでしょうか。
全委員	（異議なし）
武田和栄 会長	次に、協議第2号令和3年度五城目町地域公共交通協議会補正
	予算（第2号）について協議します。事務局より説明願います。
松橋まちづくり係長	（資料に基づき説明）
武田和栄 会長	協議第2号についての説明を終えました。ただいまの説明に対
	し、ご意見、ご質問等ございませんか。
武田和栄 会長	無いようですので、協議第2号令和3年度五城目町地域公共交
	通協議会補正予算（第2号）については、承認してよろしいでし
	ょうか。
全委員	（異議なし）





会議録署名員 工藤清光 

会議録署名員 宮川東典 